

---

# 堕ちていく

夢月@

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

堕ちていく

### 【Nコード】

N1748BA

### 【作者名】

夢月@

### 【あらすじ】

出逢わなければよかったのにと佐和子を恨めしく、時には愛おしく思う彼と佐和子のショートショート。百人一首の「中納言 藤原朝忠」の句をテーマにしたお話。

「あふことの、絶えてしなくは……」

ゆるりとその白い腕が伸びた。とく、とくと心音が脈を打ち頭の中で警鐘のように響き渡る。一步後ずさってみる者の、相手方もまた近づくのだから意味がない。終には壁際に追い詰められてしまった。白い腕は戯れに佐和子の頬を撫で、次に喉におりてくる。指先が肌の上を滑るようになぞった。

「なかなか」

背筋がぞつとするほどの色香を放つ声が佐和子をとらえた。目がすつと細まり、色素の薄い唇が弧を描く。その口からほうと吐息がもれた。しんと静まり返った部屋ではよく耳に届く。佐和子が肩を大きく震わせた。小さな悲鳴が口からこぼれる。

「人をも身をも、恨みざらまし」

強引に抱き寄せられる。かすかに梅の香りがした。腕が佐和子の背中を這った。優しく、例えるならば赤子をあやすような手つきに、ますます顔が恐怖にひきつる。ぐっと佐和子を抱きしめる力がこめられ、彼の胸板に佐和子の顔がおさまった。

「恨めしい」

耳元で甘く囁かれる声は僅かな冷たさを含んでいた。

「それでも愛おしい」

嗚呼、墮ちてしまうのだと佐和子は感じた。それは蟻地獄に似ていて、嵌ってしまった蟻はもがくほど逃げられない。佐和子は諦観したように瞼を閉じる。ふっと力を抜いて、彼の身に何もかも任せた。逃げられないのなら、いくら抗おうとも意味がない。柔らかい熱を帯びた緩慢な手つきで、幾度も頭を撫でられる。

「出逢わなければよかった」

唐突に彼の動きがぴたりと止まった。

「そうすれば、こんなことにはならなかった」

佐和子は恐る恐る彼の顔を見上げた。その瞳からは光が失われ、佐和子だけが映っていた。彼が自嘲気味に薄く笑うと、するりと腕に込める力が弱まった。一度だけ名残惜しげに、指先が頬に触れる。佐和子は思わず尻もちをついてしまった。

「お行き」

息をのむほど穏やかな顔だった。まるで憑きものがとれたようなそんな表情に、佐和子は呆然とする。

「行かないのなら、また閉じ込めてしまふ。だから、はやく」

そう言うと彼は佐和子からついと背を向けた。佐和子はただ彼の背中を見つめる。今、その背中は委縮した様に寂しげに佇んでいた。何故だか背中に触れようと、佐和子の細い腕が宙をさまよう。

「同情はいらない。あの男が待っているのだらう。お行きなさい」

さきほどより若干強めに放たれた言葉に、佐和子はためらいがちに目を伏せた。おもむろに立ち上がり、障子に手をかける。障子を半分まで開きかけた所で、はっとしたように佐和子は振り返った。

「じめんなさい」

佐和子の言葉が室内に虚しく響いた。  
程なくして障子の閉まる音がした。

あふことの たえてしなくは なかなか  
ひとをもみをも う  
らみさらまし

中納言 藤原朝忠

(後書き)

佐和子は障子を外側から閉めたとはかいてありません

もしかしたら彼の狂気を受け入れたのかもしれない、っていろいろんな終わり方が連想できるお話にしました(´、`)

病んでる人がかきたいという勢いでせこせこかいた小説です

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1748ba/>

---

堕ちていく

2012年1月4日13時48分発行